

# くろつち便り

この内容

共助会グラウンドゴルフ大会(2/16)  
9条の会 新春の集い-映画(2/16)  
ストップ川内原発!かごしまパレード(3/10)  
野草折々-23- / 当面のできごと及び連絡  
冬の花、春の花 (天声人語から)

## 共助会グラウンドゴルフ大会

共助会肝属地区運営委員会の主催で第14回グラウンドゴルフ大会を2月16日(土)鹿屋グラウンドゴルフ場で実施しました。

他の行事(九条の会 新春の集い)と重なり今回は参加者が38名と少なかったですが、飯山春男実行委員長の合図で2ラウンドを楽しくプレーすることができました。

ベテランの方々のうまさに

は本当に感心します。

来年は2月9日(日)を計画しております。たくさんの方のご参加を期待しております。結果は次の通りです。

優勝 繁昌昭男さん  
準優勝 森幸子さん  
3位 岩山益男さん



グラウンドゴルフ大会の様子

4位 繁昌アツ子さん  
5位 若松俊実さん

報告: 矢野 務

## 九条の会「新春の集い」-映画上映

人気番組「笑点」の冒頭挨拶の中で、円楽が自分の好きな言葉として、ピン芸人・松本ヒロの言葉「日本がアメリカの51番目の州になったら、星条旗が・・・」(筆者の記憶が曖昧)を上げていました。日本がアメリカの属国になっていることを皮肉った言葉です。

2月16日(土)、今年の九条の会「新春の集い」は、その松本ヒロ主演の映画上映でした。僕は勘違いして、

「ザ・思いやり」Part3の上映と聞いていましたが、ドキュメントタッチの「それでも夢はある」(松本ヒロが旅するトランプのアメリカ)の上映でした。監督、リランバクレ。

13:30分、既に会場(農業研修センター)は席が埋まっていた。松下代表の挨拶の後、14:00上映開始。

松本ヒロが、アメリカ独立宣言の著者トマス・ジェファソンの記念館やアメリカ独立戦争記念館、原爆投下爆撃機エノラゲイを展示してあるスミソニアン博物館、初代大統領ジョージ・ワシントンの生

家、ワシントン夫妻の立派なお墓、それと対照的な奴隷の墓標もない埋葬地、全米ライフル協会、キング牧師が演説をしたリンカーン記念堂前等々を訪ねて回りました。その中で、自由、人種差別、人権、暴力、戦争と平和などの問題を、提示してくれました。

アメリカでの初ライブで、憲法九条の素晴らしさを訴えたのが印象的でした。

今回の上映、主催者側は、これほど多くの観客を予想していなかったようで、後ろの席はスクリーンが遠く、字幕が見えづらいでしたが、映画の意図は、十分伝わったと思います。(文責 樋園哲思)



## 当面のできごと及び連絡

- 県議会議員選挙  
4月7日  
柳誠子、野呂正和、遠島春日児の必勝を
- 「憲法9条を守り、活かそう 意見広告(5月3日)」  
毎年実施している意見広告です。絶対に安倍に改憲の発議を許してはならないという意味で、今年は特に重要です。  
個人: 1口 1,000円以上  
団体: 1口 5,000円以上  
目標額 500万円  
最終〆切 4月15日(月)  
※できるだけ松下先生に集約
- くろつち会総会・歓迎会  
会場: 千成 5月12日
- 憲法学習会(3/21)、金曜集会(4/5)は今回中止。次回から、通常通り実施の予定。

# 野草折々-23-

飯山春男さんに身近な植物を紹介して頂いています。今回はオオスミナツトウダイです。

**オオスミナツトウダイ  
(トウダイグサ科)**

初島住彦著「九州植物目録」によると内之浦大根占 佐多に生育していると記されている。

写真は2019年3月11日  
佐多（田尻海岸）で写す。



## ストップ川内原発！ 3.10かごしまパレード

ひどい雨の中、標題の集会在、鹿児島中央駅東口広場であり、数百人が集結しました。

以下、登壇者発言の一部です。

▽**主催者代表：下馬場さん**「福島を忘れないというのは、福島の現実と共に生きていくんだという気持が大切」

▽**基調提案：向原さん**「原発延長は、子や孫まで不安を残します。法定寿命を迎えるまでの後4年が勝負です」

▽**連帯の挨拶：弁護団森さん**「私達は安い電気料金を望んでいるんじゃない。危険だから止めてほしいと訴えている」

○リレートーク  
▽**南大隅町大坪さん**「私の町には原発の処理施設はいりません」

▽**いちき串木野市代表**「24年前阪神淡路大震災を経験してこちらへ移住。8年前の原発事故で今度は原発の怖さを知りました」

▽**阿久根市代表**「昨年福島を見ました。思ったことは、一度壊したふるさとは、戻らないということです」



▽**薩摩川内市代表**「これから生まれてくる子ども達のために、原発を終わらせるべきです」

集会が始まる頃降りだした雨がひどくなってきました。

集会アピール採択の後、NO NUKESパレードを実施する予定でしたが、今年のパレードは見送ることになりました。



## 冬の花、春の花

「天声人語」の目次に、ふつと1949年3月13日「冬の花、春の花」が目にとまった。花が好きで、近隣の花の名所によく連れて行った母を思い出してのことである。<……日本の春は、春になりきった時より、春になろうとする季節が美しい。生命の始動が感ぜられる……>に、うんうんと頷きながら読み進めていくと、中ほどに<あるがままの動植物の自然界には九原則もなく……日本の人間界には九原則の冬が始まろうとしている>

とある。はて？「九原則の冬」とは何ぞや。

仏教用語でもなさそうだし。色々調べてみたら、前年1948年、第2次吉田内閣の経済安定九原則(12月)を指すらしい。

ここでもアメリカが絡んでくるのだが、アメリカの指示に従い、輸出増進／金融引き締め／賃金安定／予算の均衡／徴税強化／資金貸出制限／物価統制／食糧集荷改善／信用拡張の制限等を実施したそう。大雑把に言えば、歳入を増やし歳出は減らすというもので、戦後間もない庶民には、過酷な耐乏を要求するものだったらしい。ドッジ＝ラ

インという言葉は、どこか聞き覚えがあるが、どうもこういう話になると僕は疎い。ただ、当時ソ連と対峙していたアメリカは、日本のことを思っていることではなく、自国のことを第1に考えてのことであつたということだけははっきりしている。当時の日米関係が、TPP、安保法制、改憲推進の現在の安倍とトランプとの関係に重なって見えてくる。

だいふ話が飛んだが、文は<ほんとの日本の春は、九原則の冬の次に訪れる春ではあるまいか>で結ばれている。母も逝き、今年の花見を楽しめそうにもない。(文責 樋園)